

## 林野庁プレスリリース(6月)

平成19年度における独立行政法人緑資源機構の第1回水源林造成事業期中評価委員会の開催(6/1)

平成19年度第1回緑資源幹線林道事業期中評価委員会の議事概要(6/1)

「緑資源機構談合等の再発防止のための第三者委員会」第2回委員会の概要(6/4)

保護林モニタリング調査マニュアル検討WG第1回の開催(6/5)

第1回農林水産省政策評価会林野庁専門部会の概要(6/6)

緑資源機構談合等の再発防止のための第三者委員会の開催(6/11)

美しい森林づくりのための「効率的な森林整備の推進方策について意見を聞く会」(6/12)

平成19年度における独立行政法人緑資源機構の第1回水源林造成事業期中評価委員会の議事概要(6/12)

「緑資源機構談合等の再発防止のための第三者委員会」第3回委員会の概要(6/18)

第4回「木材に関する技術開発目標」検討会の開催(6/19)

緑資源機構談合等の再発防止のための第三者委員会の開催(6/21)

平成19年度再チャレンジ支援功労者表彰(6/26)

保護林モニタリング調査マニュアル検討WG第2回の開催(6/27)

「学校林・遊々の森」全国子どもサミットの開催(傍聴参加のご案内)(6/29)

「緑資源機構談合等の再発防止のための第三者委員会」第4回委員会の概要(6/29)

## 林野庁 一口メモ

### ハチ対策は万全に

今年も暑い夏がやってきました。これから多くなるのがハチ刺されです。皆さんも、これから避暑地を求めて山に行かれる方も多いと思いますが、どこでハチに遭遇するかわかりません。一番大切なことは、刺されないための予防策をとることです。その基本となる策は4つ。黒色にもっとも反応するので、服装は黒いものは避け、白色系にする(帽子も着用したほうがいい)、匂いはハチを刺激し攻撃対象になるので、ヘアスプレー、ヘアトニック、香水などの化粧品はつけない、巣やハチを見つけた場合は近寄らない、ハチは攻撃してくるものに対して防衛するために刺してくるので、近くにきても振り払ったりしない(車の中にハチが入ってきたら慌てずに明るい側の窓を開けてハチが出て行くのを待つ)ということです。

林野庁では、ハチ対策として、現場で仕事をする職員に防蜂網・防蜂手袋の完全着用を促したり、救急薬品などを作業現場に携行すること、ハチアレルギー血液検査を行い、その結果から蜂毒によるアナフィラキシーショックを軽減するエピネフリン剤の自動注射器(エピペン)を交付することなどを行っています。

山での楽しい思い出を残すためにも、ハチ刺され予防も忘れずに。



写真提供：林業・木材製造業労働災害防止協会

### 編集 後記

北海道苫小牧市で開かれた、全国植樹祭実際に参加して、天皇陛下の御言葉やアイヌ民族の伝統芸能などがとても印象に残りました。

イベント内容もさることながら、とても驚いたのが、警備のすこさ。とくに警察官の数にはただただ驚きで、北海道中の警察官が一堂に会した北海道警のイベントか、と思うほどでした。関係者や一般の方全員が揃いの帽子をかぶり、整然と着席しているなかで、立ち上がった時、帽子を取ったりすると、どこからともなく白いジャンパーを着た警備の方々が全力疾走で近寄り、着席や着帽を促すのです。その一連の言動に、日本の警察官のすこさを感じました。

## 林野 RINYA 7月号 No.4

平成19年7月15日発行

発行 林野庁

〒100-8952 東京都千代田区霞ヶ関1-2-1

電話 03-3502-8111(代) FAX 03-3591-6505

編集 株式会社トレイントラックス

東京都渋谷区富ヶ谷1-41-7 クリサンテ1002

印刷 財団法人林野弘済会

東京都文京区後楽1-7-12